

 NPO 法人アレルギーを考える母の会主催 **オンライン** 研修会

(後援：厚生労働省)

小児アレルギー疾患の「保健指導」を充実させるために

募集要項 (令和3年度)

(独) 福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

【趣旨】 国の「アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針」(平成29年3月)に、「市町村保健センター等で実施する乳幼児健康診査等の母子保健事業の機会を捉え、乳幼児の保護者に対する適切な保健指導や医療機関への受診勧奨等、適切な情報提供を実施するよう求める」ことが盛り込まれ、これを進めるために平成31年3月には「小児のアレルギー疾患 保健指導の手引き」(厚生労働科学特別研究班)も作成されました。本研修事業では同手引きを分担執筆した専門医を講師に迎え、アレルギーの発症予防が期待される適切なスキンケアや離乳支援を含め、小児アレルギーの最新知識と適切な対応、保健センター等で求められる「保健指導」の取り組みについて学びます。

* 本研修会はオンライン会議ツール (Zoom) を使用して行います

(インターネットを利用できるPC、スマートフォンで参加できます)



【第1回】 令和3年12月3日 (金) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：小児アレルギーの最新知識と適切な対応 (主に保健師、栄養士、看護師、助産師、行政職員向け)

○講師：福家辰樹先生 (国立成育医療研究センターアレルギーセンター・総合アレルギー科医長)

【第2回】 令和3年12月9日 (木) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：保護者との信頼関係を生む小児アレルギー疾患の保健指導

○講師：古川真弓先生 (さいわいこどもクリニック、前東京都立小児総合医療センターアレルギー科)

【第3回】 令和4年1月13日 (木) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：保護者との信頼関係を生む小児アレルギー疾患の保健指導

○講師：古川真弓先生 (さいわいこどもクリニック、前東京都立小児総合医療センターアレルギー科)

【第4回】 令和4年1月28日 (金) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：小児アレルギーの最新知識と適切な対応 (主に保健師、栄養士、看護師、助産師、行政職員向け)

○講師：福家辰樹先生 (国立成育医療研究センターアレルギーセンター・総合アレルギー科医長)

【定員】 各回 500人

【参加費】 無料

(裏面に申し込み方法と講師の略歴)

(申し込み)

【申込方法】 下記 URL または右の QR コードからアクセスし、送信して下さい

○申込 URL <https://forms.gle/zekr3QKgxxCnxnAq7>

* 上記からのお申込みが難しい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください



【申込期間】 令和3年9月1日（水）から、各回開催日の10日前まで

- * 締め切り日の前に定員に達した場合は、その段階で受付を締め切ります
- * 応募多数により参加をお断りする際は、アレルギーを考える母の会よりご連絡いたします
- * 開催1週間前をめどに当日の参加 URL と講演資料をダウンロードできるサイトの URL をメールで送信します
- * アクセスできる数に限りがあるため、1参加 URL につき使用できる端末は1台に限ります
- * 研修内容の録音・録画・画面撮影、講演資料の2次使用、参加 URL の他人への譲渡はできません。適切な管理をお願いいたします。いただいたメールアドレスなど個人情報は本研修会でのみ利用いたします

【事前アンケート回答のお願い】 研修会参加者に助成事業の一環として「保健指導の現状や課題」などについてうかがうアンケート（無記名）へのご協力をお願いいたします。参加 URL とともにアンケート（Google フォームを使った Web アンケート）を送信します。保健指導の充実に向け、研修会前にご回答いただきますようお願いいたします。

【問い合わせ】 「母の会」HP (<http://hahanokai.org/>) 「お問い合わせはこちら」へ
または携帯電話 090-3220-4425（代表・園部まり子）

【講師の紹介】

○**福家辰樹先生**：アレルギー疾患の国の中心拠点施設、国立成育医療研究センターアレルギーセンター・総合アレルギー科医長、医学博士、日本小児科学会指導医、日本アレルギー学会指導医。浜松医科大学卒、同大学講師などを経て現職。「小児のアレルギー疾患 保健指導の手引き」分担執筆者、日本小児アレルギー学会小児気管支喘息治療・管理ガイドライン委員、食物アレルギー診療ガイドライン 2016/2021 執筆協力者などを務める。



福家辰樹先生

○**古川真弓先生**：さいわいこどもクリニック（東京・立川市）医師。獨協医科大学卒、国立成育医療研究センター総合診療部、東京都立小児総合医療センターアレルギー科などを経て現職。日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医。「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」（東京都）を作成、「小児のアレルギー疾患 保健指導の手引き」（厚生労働科学特別研究班）などを分担執筆した。都内の自治体の保健センターで、現場の保健師などとともに実際の保健指導にも携わっている



古川真弓先生

【NPO 法人アレルギーを考える母の会】

平成 11 年に横浜市で発足。アレルギー患者を適切な医療（標準治療）につなぎ健康回復を図る相談活動（年間約 400 人）を中心に、患者も賢く適切な医療を知る学習懇談会・講演会活動、相談から浮かぶ社会的な課題の解決を国や自治体、関連学会などに建設的に働きかける活動、また相次ぐ災害の被災地でも活動を継続している。厚生労働省や文部科学省などの連携の中で、厚生労働省「アレルギー疾患対策推進協議会」（平成 27 年 12 月）などの委員も務める。第 69 回「保健文化賞」（主催：第一生命保険、後援：厚生労働省等、平成 29 年度）などを受賞している。

NPO 法人アレルギーを考える母の会主催 **オンライン** 研修会

(後援：文部科学省、厚生労働省)

コロナ禍でも学校・保育所などの食物アレルギー 対応を充実させるために

募集要項 (令和3年度)

本事業は (公財) ニッポンハム食の未来財団の助成を受けて実施します

【趣旨】「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」(日本学校保健会) や「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」(厚生労働省) が相次いで改訂されるなど、アレルギーの子どもたちの支援にかかわる施策が大きく前に進んでいます。また児童福祉施設や「子ども食堂・地域食堂」など、多くの子どもの居場所でも対応を求められるケースが増えています。本研修会では、ガイドラインや手引きの作成に携わった専門医などを講師に迎え、小児アレルギーの最新知識と適切な対応、ガイドライン改訂のポイント、施設で求められるアレルギー対応などについて実践的に学びます。新型コロナ感染症の影響で研修に参加する機会が減っています。ご活用ください。

* 本研修会はオンライン会議ツール (Zoom) を 使用して行います

(インターネットを利用できる PC、スマートフォンで参加できます)



【第1回】令和3年12月7日(火) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：食物アレルギーの給食対応の実際 (主に栄養士、調理師、調理員、行政職員向け)

○講師：管理栄養士・小児アレルギーエドゥケーター 長谷川実穂さん

【第2回】令和4年1月7日(金) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：学校・保育所、児童福祉施設のアレルギー対応 (主に教職員、保育士、救急救命士など向け)

○講師：昭和大学医学部小児科学講座教授 今井孝成先生

【第3回】令和4年2月4日(金) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：学校・保育所、児童福祉施設のアレルギー対応 (主に教職員、保育士、救急救命士など向け)

○講師：昭和大学医学部小児科学講座教授 今井孝成先生

【第4回】令和4年2月15日(火) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：食物アレルギーの給食対応の実際 (主に栄養士、調理師、調理員、行政職員向け)

○講師：管理栄養士・小児アレルギーエドゥケーター 長谷川実穂さん

【定員】各回 500 人

【参加費】無料

(裏面に申し込み方法と講師の略歴)

(申し込み)

【申込方法】 下記 URL または右の QR コードからアクセスし、送信して下さい

○申込 URL <https://forms.gle/ysWkFVpBir2Hvruo6>

* 上記からのお申込みが難しい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください



【申込期間】 令和3年9月1日(水)から、各回開催日の10日前まで

- * 締め切り日の前に定員に達した場合は、その段階で受付を締め切ります
- * 応募多数により参加をお断りする際は、アレルギーを考える母の会よりご連絡いたします
- * 開催1週間前をめどに当日の参加 URL と講演資料をダウンロードできるサイトの URL をメールで送信します
- * アクセスできる数に限りがあるため、1参加 URL につき使用できる端末は1台に限ります
- * 研修内容の録音・録画・画面撮影、講演資料の2次使用、参加 URL の他人への譲渡はできません。適切な管理をお願いいたします。いただいたメールアドレスなど個人情報は適切に管理し本研修会でのみ利用いたします

【問い合わせ】 「母の会」HP (<http://hahanokai.org/>) 「お問い合わせはこちら」へ
または携帯電話 090-3220-4425 (代表・園部まり子)

【講師の紹介】

○**今井孝成先生**：昭和大学医学部小児科学講座教授、日本アレルギー学会指導医。東京慈恵会医科大学卒、アレルギー疾患の国の中心拠点施設、国立病院機構相模原病院で小児科全般ならびに小児のアレルギー疾患について広く診療に携わる。同病院小児科医長などを経て現職。「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」の作成と改訂で中心的な役割を果たした。



今井孝成先生

○**長谷川実穂さん**：管理栄養士、小児アレルギーエドゥケーター、昭和大学病院小児科研究補助員。静岡県立大学食品栄養科学部栄養学科卒、国立病院機構相模原病院臨床研究センター研究員などを経て現職。「子供が喜ぶ食物アレルギーレシピ」(成美堂出版)など多数の栄養監修、「学校給食における食物アレルギー対応指針」(文部科学省)作成にも携わった。保育所や子ども食堂などに出向いて研修を行うなど、地域でも幅広く活動している。



長谷川実穂さん

(NPO 法人アレルギーを考える母の会)

平成11年に横浜市で発足。アレルギー患者を適切な医療(標準治療)につなぎ健康回復を図る相談活動(年間約400人)を中心に、患者も賢く適切な医療を知る学習懇談会・講演会活動、相談から浮かぶ社会的な課題の解決を国や自治体、関連学会などに建設的に働きかける活動、また相次ぐ災害の被災地でも活動を継続している。厚生労働省や文部科学省などの連携の中で、文部科学省「学校給食における食物アレルギー対応に関する調査研究協力者会議」(平成25年5月)、厚生労働省「アレルギー疾患対策推進協議会」(平成27年12月)などの委員も務める。第9回「かながわ子ども・子育て支援大賞」(主催：神奈川県、平成27年度)、第69回「保健文化賞」(主催：第一生命保険、後援：厚生労働省、朝日新聞厚生文化事業団、NHK 厚生文化事業団、平成29年度)などを受賞している。